

万引き犯罪の起きにくい社会へ

全国万引犯罪防止機構 理事長 河上 和雄



法犯認知件数が発表されました。これによると「刑法犯全体は平成14年以降毎年減っているが、万引は刑法犯全体の1割を占め高止まり状態であり、とりわけ65歳以上の高齢者の犯罪が高水準である」と認められます。

青少年の万引犯罪は、皆様の努力により順調に減少しておりますが、この機会に減少

新年明けましておめでとうございます。平素は当万防機構にご支援を賜り心より感謝申し上げます。

「万引をしない、させない、見逃さない」のキヤッチフレーズのもと「全件警察へ届出」の運動が全国で展開されています。各地で万引防止対策の取組みも活発化し、「犯罪の起きにくい社会づくり」に向けて本格的な運動が活発になっています。

この活動の一翼を担ってきた当万防機構は、今年6月に設立10年目を迎えます。この間、会員の皆様をはじめ、関係省庁、関係団体の皆様のご支援とご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。特に警備関係の皆様には「全件警察へ届出」等で日々活躍をいただき深く感謝申し上げます。

一方、高齢者は社会の宝であり、青少年をはじめ世の中の見本となるべき人々であるはずです。なぜ、犯罪に走るのかを考えると、「地域社会からの孤立化」、「認知症等病気をかかえている」等いろいろな事情があると思われるますが、日本の置かれている社会構造も含めて考えることが重要です。犯罪ではあります。警察だけでは解決できない課題です。まずは行政に対して

対しても、この問題に対して関心を持ってもらうよう働きかけを行うことが最重要課題であると考えています。世界の範となる日本の規範意識を守り、更に高めて行くためにも、万引問題を直視し、実行力のある挨拶などソフト対策、万引防止システムなどハード対策、巡回や情報共有などの地域の連携を通して、万引きをさせない環境作りを推進してまいります。

12月12日、警察庁から昨年(の)1～11月の刑

はじめ世の中の見本となるべき人々であるはずです。なぜ、犯罪に走るのかを考えると、「地域社会からの孤立化」、「認知症等病気をかかえている」等いろいろな事情があると思われるますが、日本の置かれている社会構造も含めて考えることが重要です。犯罪ではあります。警察だけでは解決できない課題です。まずは行政に対して